

# ふれあい情報

## 2015年7月22日(水) 第213号

■発行 日本退職者連合

■発行人 菅井義夫

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

TEL 03-5295-0507 FAX03-5295-0541

<e-mail>tais yokusharengo@sv.rengo-net.or.jp

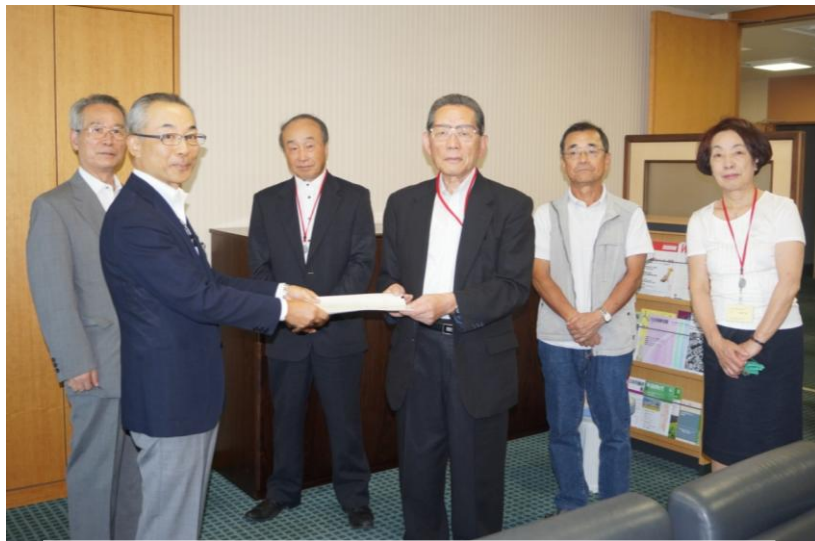
<ホームページ>http://tr.jtuc-rengo.jp

### 共に“持続可能な社会保障制度”確認

#### 7月21日

#### 退職者連合が厚労省要請

退職者連合の阿部保吉会長は、第19回定期総会で決定した2015年度社会保障制度等に関する要求について、7月21日(火)午後2時から霞ヶ関の厚生労働省で宮野甚一総括審議官に会い、その実現を求めました。この日の要請は、安倍政権による大幅な延長国会の会期中であり、厚労省側には厳しい時間的制約があるにもかかわらず、定期総会終了からわずか1週間で実現したものです。また予定時間をオーバーして熱心なやりとりが行なわれ、回答内容には一部前進が見られるなど、これまで積み重ねてきた厚労省要請の結果がでてきた内容となりました。退職者連合からは菅井義夫事務局長、野田那智子・林道寛両副事務局長、太田敏夫幹事(年金専門委員長)、川端邦彦幹事(医療・福祉専門委員長)が出席しました。なお当日午前には、民主党要請を行ないました(別掲)。



宮野総括審議官(左から2人目)に要請書を手渡す阿部会長(中央)。右から野田、川端、太田、菅井の各氏=21日。林副事務局長写真。

要請では、はじめに阿部会長が早期に要請に応じてくれたことに謝意をのべ、次に菅井事務局長が、各要求項目を説明しました。

これに対し宮野総括審議官は、「個別項目は、別途担当者によってもらうこととして、総括的に述べたい」と前置し、次のように回答しました。

#### 厚労省の基本は「安定した雇用」

宮野総括審議官の発言要旨「退職者連合の要求」持続可能な社会保障制度は、その通りだ。(安倍政権の社会保障費大幅抑制について)全体の財源問題があり必要なものは見直しをはかり、必要なもの予算は確保したい。(社会保障教育の推進について)

厚労省の考え方を示す宮野氏

進について)文部省と連絡を取り合って行きたい。(マクロ経済スライド調整の名目下限方式の堅持について)名目下限方式は維持したい。(地域包括ケアシステムについて)我々としても極めて重要でちゃんと進めていかなければならない。(公的皆保険の堅持について)公的皆保険はしっかり守っていくのが厚労省の基本だ。(認知症対策基本法の制定について)重要な問題になっている。新オレンジプランに則って進めている。(認知症高齢者に起因する損害について)問題意識は持っているのですが、どういふことができるか検討していきたい。地域で見守りをしてこいう事故が起きないようにすることが重要だ。(非正規労働者対策について)厚労省の基本は、いかにして安定した雇用で働いてもらうかだ」。



## 民主党への要請

## 来年の参議院選挙闘争必勝で意思統一

# 安保関連法案、労働法制改悪法案の廃案に向け、さらに連携強化へ

2015年度社会保障制度等の要求実現に向けて退職者連合は7月21日、厚労省要請に先立ち、午前11時から衆議院内にある民主党国対委員長室で枝野幸男幹事長に協力を要請しました。民主党からは企業団体対策委員長の柳田稔参議院議員、厚生労働部門会議座長の山井和則衆議院議員、参議院内閣委員長の大島九州男参

議院議員の4名が出席。退職者連合からは、阿部会長、菅井事務局長、野田・林両副事務局長、太田・川端両専門委員長が参加しました。会談の終わりに、民主党側から来年の参議院議員選挙に向けた強い支援要請がありました。

### 「要望に沿えるよう努力したい」

要請を受けて枝野幹事長は、「安保法制、労働法制での退職者連合の取り組みに感謝申し上げます。(退職者連合の社会保障制度等の要求内容について)大きな方向性や重要なポイントについては、民主党と同じだ」と返答。「ただ具体的・個別的になると財政問題で党内には若干の議論がある」と率直に語り、「できるだけ退職者連合の要望に添えるように努力していきたい」と述べました。またカジノ推進法案については「党としての方針は固まっている

阿部会長は冒頭、安保法制や労働法制をめぐって連合や民主党とともに廃案を目指す運動を進めていく決意を表明。政策・制度要求では「一つでも前進するよう民主党にお力添えをいただきたい」と要請しました。

具体的要求項目の説明では、菅井事務局長が特に地域包括ケアシステムについて触れ、「地域での医療や介護としてこれから大きな目玉になっていく」と強調しました。

いが、反対の声もあり、慎重に対応していきたい」と語りました。

一方、山井座長が「全国で要支援1、2の打ち切りが進んでいる」と警鐘を鳴らしたことに對し、阿部会長は「要支援1、2問題では、しっかりと対応していきたい。昨年から全国で自治体要請を取り組んできた。今年は、すべ

ての自治体に実施したい」と述べました。

会談では、民主党側からも支援要請がありました。枝野幹事長は、「来年の参議院選挙では、民主党の必勝に向けて選挙のベテランである退職者連合の皆さんのお力をぜひともいただきたい」と強調。阿部会長も「連合推薦一二名をはじめ全ての選挙区選挙の必勝に向け、退職者連合は何としても頑張りたい」と応じました。

▲民主党国対委員長室で枝野幹事長(右から四人目)に要請書を手渡す阿部会長(左)。右から大島、山井、柳田各議員。左から川端、太田、野田、菅井の各役員。



▲要求項目について説明する菅井事務局長。